

救急医療情報キットの効果・・・こんなに役に立つ!

2年ほど前から、コミ協では高齢者のご家庭を対象として、「救急医療情報キット」の配布事業を進めている事にごぞんじだと思えます。現在配布数は365人に達しておりさらにキットの配布拡大に取り組んでいきたいと思えますが、いざという時にキットがどのような役に立つかという事について、消防署のお話をうかがいました。



救急医療情報キット

キットには、緊急時の連絡先や、保険証の番号などが書かれており、これらの情報がいざという時に役に立つのはよくわかると思うのですが、もう一つとても大切な働きがあります。それは、対象者ご本人の「かかりつけ医の連絡先」です。救急車の受け入れ病院(ここでは主に菊川市立病院)の担当医師は、ご本人への最も適切な対応を行うためには、その人の状態を出来るだけ早く、正確に知りたいわけですが、もしかかりつけ医がわかれば、そこには本人のカルテがあるわけですから、現在の本人の症状についての情報がすぐわかります。いったいどんな病気を持っているか。薬はどんなものを飲んでいるか。治療中の病気があれば、それはどういう状態なのか。これらの事がすぐわかったら、本人への適切な対応をする上で大変役にたつでしょう。

医療情報キットは、役に立ちます。最近も、一人住まいの高齢者の方が救急車のお世話になった時も、緊急連絡先などがすぐわかり、関係者が病院にかけつける事が出来ました。現地での対応も平均より3分ほど短縮されました。たった3分でも、症状によっては大きな救命率の向上が期待できます。

今後とも、自治会などで対象高齢者などへの説明・配布の会をやっていただければ、どんどん配付を広げる事ができるでしょう。また**希望者は各地区センターでもキットを入手出来ます。**ご希望の方はぜひお出掛け下さい。